



一般社団法人
小田原市観光協会

令和3年12月7日
一般社団法人小田原市観光協会
公益社団法人日本観光振興協会



公益社団法人 日本観光振興協会
JAPAN TRAVEL AND TOURISM ASSOCIATION

NEWS RELEASE

第21回 全国産業観光フォーラム in 小田原 開催

一般社団法人小田原市観光協会・全国産業観光推進協議会・公益社団法人日本観光振興協会は、令和4年2月17日（木）に神奈川県小田原市にて「第21回全国産業観光フォーラム」を開催いたします。また、翌2月18日（金）には、まち歩きツアーと分科会をセットにしたワークショップの実施を予定しております。

全国産業観光フォーラムは今年で21回目を迎えます。今回は「なりわい文化とまち歩き観光」をテーマとし、基調講演やパネルディスカッション、ワークショップを通して、江戸時代に始まったと言われている小田原のなりわいツーリズム（産業観光）の取り組みを事例として、ウィズコロナ、アフターコロナにおける産業観光の在り方を考えることを目的としています。

★詳細・申込については、以下の概要及び特設サイト (<http://www.odawara-forum.com>) をご参照ください。

多くの方々のご参加をお待ちしております。

<お問合せ先>

一般社団法人小田原市観光協会 担当：高村

Tel:0465-20-4192 Mail: takamura@odawara-kankou.com

公益社団法人日本観光振興協会 総合調査研究所 担当：安本、近藤

Tel:03-6435-8333 Mail: soken@nihon-kankou.or.jp

「第 21 回全国産業観光フォーラム」概要（予定）

○開催日：2022 年 2 月 17 日（木） 13:30 ～ 16:50（フォーラム）

2022 年 2 月 18 日（金） 9:00 ～ 12:00（ワークショップ）

○開催会場：小田原三の丸ホール（小ホール）

神奈川県小田原市本町 1-7-50

○全体テーマ：なりわい文化とまち歩き観光

○主催：一般社団法人小田原市観光協会

全国産業観光推進協議会、公益社団法人日本観光振興協会

○後援：経済産業省、観光庁、かながわ観光大学推進協議会、小田原市、小田原箱根商工会議所

○参加方法：現地（会場）参加 ※17 日のフォーラムの様子は後日 WEB 配信を行う予定です。

○参加費：無料

○お申込：（特設サイトから）<http://www.odawara-forum.com>

○フォーラム内容：

1. 開会式
2. 第 14 回産業観光まちづくり大賞表彰式
3. 基調講演

テーマ 「これからの産業観光」

講師 須田 寛 氏 / 全国産業観光推進協議会 会長
東海旅客鉄道株式会社 顧問

4. パネルディスカッション

テーマ 「小田原のなりわい文化とまち歩き観光を考える」

コーディネーター 丁野 朗 氏 / (公社)日本観光振興協会 総合調査研究所顧問
全国産業観光推進協議会 副会長

パネリスト 加藤 史子 氏 / WAmazing 株式会社 代表取締役 CEO

総田 はるみ 氏 / 横浜商科大学 教授

かながわ観光大学推進協議会 会長

平井 丈夫 氏 / 小田原まちセッションズ 代表

小田原まち歩き実行委員会 委員長

外郎 藤右衛門 氏 / 株式会社ういろう 代表取締役

(一社)小田原市観光協会 会長

○ワークショップ内容：

全6コースに分かれて、まち歩き→分科会を実施

<ワークショップのテーマ>

・テーマ1：伝統なりわい

室町時代から続く商家「ういろう」、創業360年となる日本茶・和紙を中心にした「江嶋」などを巡り、伝統なりわいを考える。

・テーマ2：海なりわい①かまぼこ

江戸時代に東海道最大の規模を誇った小田原宿に位置する「かまぼこ通り」を巡り、海のなりわいを考える。

・テーマ3：海なりわい②ひもの

1次産業である定置網漁業を含めた海なりわいの観光活用を考える。

・テーマ4：山なりわい

小田原の木工は平安時代に京都から職人が移り住んだのを起源とし、江戸時代には箱根湯治の土産品となったなりわいを考える。

・テーマ5：里なりわい

戦国時代に兵糧用として始まった食用梅の生産を目的とした梅林を活用した観光を考える。

・テーマ6：観光地域ストーリー研究会

小田原の今昔をつなぐ地域ストーリーの再考。新たな産業創造とまち歩き型観光を考える。

○詳細の確認：(特設サイト参照) <http://www.odawara-forum.com>